

前回審議会（2024/8/29）で頂いた御意見への対応について

資料 2

令和7年2月5日現在

	委員	意見の概要	対応状況	担当課
1	今藤 委員	太陽光パネルのガイドラインについて、生物多様性という言葉に全く触れられていない。希少な生き物を守るとか、そういう観点がなく、受粉する昆虫などが太陽光パネルの設置で失われてしまったりといった報告もある。ガイドラインの改定などを検討される際には、生物多様性というワードもかなり重要であり、環境省でもかなり意識して太陽光パネルを調べたり、報告が出ていると思うので、その観点を取り入れていただければ。	動物・植物・生態系への配慮については、環境省のガイドライン（太陽光発電の環境配慮ガイドライン）が示されているところであり、県としては、その周知を図ってきたところではありますが、県のガイドラインにその旨を明記することなどにより、太陽光発電の適正導入をさらに促進してまいります。	環境政策課
2	青柳 委員	計画書制度について、他県では、制度が県全体の削減計画にどれだけ貢献するのか、計画書制度で実施できる削減量が、きちんと県全体の削減量を達成できるだけの効果を持つように設計されているのかというところまで議論が進んでいるところもある。 茨城県も、単に玉を打つだけではなくて、政策の効果がきちんと目的を達成しているかどうかという評価まで行っていただきたい。	本県では、県地球環境保全行動条例において、一定規模以上の事業者を対象として、毎年、省エネ対策の取組結果報告を求め、省エネに効率的な設備の更新などに関して、指導・助言を行うことで、事業者における自主的な省エネ対策の促進を図っている。 また、各施策の実施状況については、毎年、推進委員会に報告し、専門家の意見を伺いながら、施策の評価について評価をいただいております。	環境政策課

	委員	意見の概要	対応状況	担当課
3	富岡 委員	産業廃棄物の処分量は2018年度の分が出ているが、最新の2023年度のデータが出て、今後の動向が分かることを楽しみにしている。	2023年度のデータについては、現在「茨城県産業廃棄物実態調査」により調査を実施中ですが、最新の速報値を資料3参考の環境指標に記載のとおりです。 引き続き調査結果の精査・分析等を行い、今年度中には結果を公表する予定です。	資源循環推進課
4	松本 委員	いばらき食べきり協力店の店舗数は地域によってばらつきがあるのではないかとと思うが、店舗の位置を地図に落としてもらえたら、見るほうとしては情報としてありがたいと思う。	登録店舗数の拡大を図るためにGoogleマップを活用し、地図上に登録店舗の位置情報を落とし込んだ「いばらき食べきり協力店マップ」を作成し、HP上で公開いたしました。※	資源循環推進課
5	松本 委員	食品ロス削減の促進の小学校向け啓発教材の活用呼びかけについて、昨年どのくらい使われていているのかなど、活用状況の報告をもらうなどできないか。学校も負担になるかとは思いますが。	食育関連授業において同教材を活用してもらえるよう、栄養教諭等の研修会での働きかけを教育庁に依頼するとともに、教材活用状況の把握方法について、現在、教育庁と協議を行っております。	資源循環推進課

※<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/haitai/kikaku/syokuhinrosu/syokuhinnrosutabekirikyoryokuten.html#map>